



せいか社協だより

地域で共に助けあい 支えあうまちづくり

VOL.77



宮城県宮城郡七ヶ浜町のボランティア活動

社協だより主な内容

☆被災地支援活動の報告	2
☆小地域福祉委員会	3
☆平成22年度事業報告	4
☆平成22年度収支決算	5
☆平成23年度事業計画	6
☆平成23年度収支予算	6
☆ボランティアセンターコーナー	7
☆地域包括支援センターコーナー	8
☆デイサービスセンター掲示板	10
☆相談情報コーナー	12
☆寝具洗濯乾燥消毒サービスのお知らせ	12
☆ご寄付ありがとうございました	12

今、できること

平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」によって、犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

精華町社協では、行政や京都府社協、京都災害ボランティア支援センターなどの関係機関と情報を共有し、連携を図りながら、引き続き被災地支援活動を行います。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

「東北地方太平洋沖地震」被災地支援活動

精華町社協の取り組み

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震について、本会では、精華町や京都府社協、京都災害ボランティア支援センターをはじめとする関係機関と連携してさまざまな支援を行っています。

また、地域住民の皆さまの温かい御厚志を被災された方々へお届けするため、中央共同募金会を通じた義援金の受け付けをさせていただいています。

さらに、本会は、精華町災害ボランティアセンターとしての機能を有するため、災害ボランティアコーディネーター並びに災害ボランティアと協力し、支援物資の受け付けなどを行ってきました。

これまでに本会が行った支援などについては、次のとおりです。



■義援金の受付開始

被災地に義援金を届けるため、地域福祉センターかしのき苑、社協デイサービスセンターに募金箱を設置し、義援金の受け付けを開始しました。

これまでに寄せられた義援金は、823,131円(6月2日現在)です。

ご協力ありがとうございました。



■街頭募金の実施

被災地に義援金を届けるため、災害ボランティアコーディネーター、災害ボランティア、民生児童委員とともに、町内の商業施設において街頭募金を実施しました。



■災害ボランティアセンターの立ち上げ

京都府災害支援対策本部が設置され、精華町においても同時に災害支援対策本部が設置され、同本部から災害ボランティアセンター立ち上げ(第2段階への切替)の要請を受けたことに伴い、3月25日から災害ボランティアコーディネーター並びに災害ボランティア全員に対して、緊急の協力要請を行いました。

■支援物資の受付などの協力

精華町役場1階において、支援物資の受け付けを開始したことに伴い、災害ボランティアセンターとして、災害ボランティアコーディネーターの協力のもと、支援物資の受付及び仕分けを行いました。

また、受け付けた支援物資を京都府災害支援対策本部が指定する場所までお届けしました。



■被災地への職員派遣

京都府内の社協と共同の取り組みとして、宮城県に本会職員を派遣しました。

名取市の災害ボランティアセンターでは、県内から来られるボランティアの方々を活動場所まで送迎するための調整手続きをなど行いました。

七ヶ浜町では、社協の業務支援として緊急小口資金の特例貸付を担当し、被災された世帯を対象に当面の生活費を貸付ける業務を行うとともに、災害ボランティアの運営を補助しました。約50日目になるとライフラインが復旧し、電気・水道・ガス・携帯電話・コンビニなどが利用できるようになり、多くのボランティアの方々が、美しい町を取り戻すために、一日でも早い復興を願って活動されています。



息の長い支援活動が求められている今、引き続き、私たちにできることを考えてみませんか。

小地域福祉委員会活動紹介 第二期モデル地区 南稲八妻自治会の取り組みについて

小地域福祉委員会とは、自治会ごとの小地域を単位として、住み慣れた地域で、これからも安心して住み続けていけるように、よりきめ細かな地域福祉活動を推進するための組織です。

精華町社協では、平成18年度から実施し、約5年が経過しました。第1期から第3期とあわせて12ヶ所の自治会をモデル地区として指定し、地域で取り組まれる小地域福祉委員会活動を推進しています。

今回は、第2期モデル地区として平成20年度から指定を受けている、南稲福祉活動委員会の活動を報告します。

三世代の交流を深め、南稲あつたか家族をつくらう

南稲八妻自治会南稲福祉活動委員会

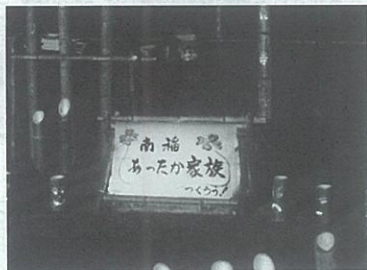
南稲八妻自治会が、小地域福祉委員会モデル地区として活動する目的を「三世代の交流を深める」と定め、隣近所の付き合いを深め、「地域が家族」の思いを願いました。この委

員会のメンバーには、自治会の各団体が参加しています。

各団体が今まで活動してきた行事にこの目的を意図した活動をお願いしました。

各団体の連携による新しい取り組みで、新しい参加者および世代間の新しい交流が始まり年齢層にも厚みが出てきました。

さらに小地域福祉委員会の新しい試みとして、「竹筒灯火」「書初め教室」「ちよっとした趣味の発表会」を「文化的行事」として新しく企画しました。今までの「やや体育会系・屋外的行事」に参加しにくかった人たちが地域の交流の輪に新しく加わっていたのだきたいと考えました。



「竹筒灯火」と「夏祭り」

「竹筒灯火」は長寿会の有志による竹伐りにはじまり、親子工作教室により、たくさん竹筒を各戸にも配布し、絵を描いたり願い事を書いたりして、当日に備えます。

「夏祭り」当日は持参した竹筒をならべ、ロウソクを入れて一斉点火します。

夏の夜にゆらゆら揺れる、ほのかなロウソクの灯は幽玄の世界へと誘ってくれます。夏祭りの参加者も倍増しました。



「南稲のちよっとした趣味の発表会」

「南稲のちよっとした趣味の発表会」と名付けた発表会。個人やサークルでの趣味作品、子供たちの初めての陶芸や絵がみ、将来趣味につながるかもしれない。そして本格的な作品まで。

また、「鳴き砂」の収集の発表や、一年間の行事スライドなど作品以外の出展もあり、種々多様な展示を皆さん楽しんでいきます。

出展者も発表の機会を得て制作の意欲を一層掻き立てています。

あの人、この人が、興味津々、会話も深まり、そして何より、気楽

に行事に参加する新しい顔・顔、一層会話の輪が広がっていることを実感しています。

地域がひとつのあつたかい家族として、世代間の交流も徐々に、確実に広がり、絆も広がっていくのが楽しみです。



平成23年度は、小地域福祉委員会先進地域への視察研修会や活動実践者のみなさん同士の意見交換会を催して小地域福祉委員会活動を応援していく計画です。

精華町社協では、「地域で共に助けあい支えあつまちづくり」を基本理念として小地域福祉委員会活動に取り組んでいるモデル地区を応援しています。

にっし

精華町社協の理念である『地域で共に助けあい 支えあうまちづくり』の実現を目指し、各種事業に取り組みました。
主な事業結果を紹介します。

平成22年度事業報告

- ①在宅介護者等介護者リフレッシュ事業(43人)
- ②軽度生活援助事業(116人)
- ③寝具洗濯乾燥消毒サービス事業(48人)
- ④外出支援サービス事業(780人)
- ⑤障害児者移送サービス事業(213人)
- ⑥紙おむつ等支給事業(1,563人)
- ⑦訪問理美容サービス事業(43人)
- ⑧配食サービス事業(5,475人)
- ⑨通所型介護予防事業(1,250人)
- ⑩高齢者生きがい活動支援通所事業(235人)
- ⑪ふれあいテレフォンサービス事業(501人)
- ⑫日常生活用具等貸出事業(146人)
- ⑬友愛訪問事業(180人)
- ⑭一人暮らし高齢者等会食交流会(35人)
- ⑮おせち宅配事業(52人)
- ⑯介護用品等支給事業(112人)
- ⑰歳末お見舞金支給事業(518人)

高齢者・障害者・介護者支援事業



- ①理事・監事・評議員の構成
 - 理事定数15名
 - 監事定数2名
 - 評議員定数37名(3名欠員)
- ②理事会等の開催状況
 - 理事会(3回開催)
 - 評議員会(2回開催)

役員体制等

- ①地域福祉活動計画推進委員会(2回)
- ②会員及び会費納入依頼
 - 役員による法人・事業所への法人会員入会依頼
 - 町内商業施設での街頭啓発と入会依頼など
- ③地域包括セミナーの開催(2回72人)
- ④福祉啓発映画上映会(374人)
- ⑤災害ボランティアセンターの設置・運営
 - 災害ボランティア講座(29人)
 - 災害ボランティアコーディネーター養成講座(17人)
 - 東北関東大震災による被災地支援
- ⑥高齢者見守り隊事業
 - ボランティア活動等の継続実施
- ⑦広報啓発事業
 - 社協だよりの発行(4回)
 - ホームページの開設
 - せいか祭り等での事業啓発、アンケート調査
- ⑧サロン活動支援事業(派遣回数13回・42団体へ助成)
- ⑨福祉サービス利用援助事業(65人)
- ⑩社会福祉団体等助成事業(7団体)
- ⑪ふれあいサポート事業
 - 協力会員13人／利用会員25人
 - のべ活動回数966回・活動時間数1,315時間
- ⑫小地域福祉委員会活動の推進
 - ネットワーク会議(3回)
- ⑬一人暮らし老人の会「若葉会」の事務局運営
- ⑭ボランティアセンターの設置・運営
 - ボランティアセンター運営委員会(4回開催)
 - ボランティア養成講座(14人)
 - ボランティアきっかけ講座(35人)
 - ボランティアグループ啓発DVDの放映
- ⑮ボランティアグループ助成事業(15団体)
- ⑯ボランティア活動基盤整備事業(機材の整備)
- ⑰ボランティア登録(595人)
- ⑱ボランティア連絡協議会への支援

地域福祉活動・ボランティア活動



社協かつどう

- ①夏休み地域児童福祉活動助成事業
- ②育児サークルへの支援
- ③親子ふれあい推進事業
- ④小中高等学校における福祉体験学習の推進

子育て関係

- ①指定居宅介護支援事業
- ②指定訪問介護事業
- ③指定介護予防訪問介護事業
- ④指定通常規模通所介護事業
- ⑤指定認知症型通所介護事業
- ⑥指定介護予防通所介護事業
- ⑦指定障害者居宅介護事業

介護保険事業等



福祉サービス苦情解決事業

〈福祉サービス苦情受付体制〉

- 苦情解決責任者(事務局長)
- 苦情解決担当者
(地域福祉課長並びに在宅福祉課長)
- 苦情受付第三者委員(2名)

〈福祉サービス苦情受付件数〉

- 職員の態度・連携(4件)
- サービスの内容・(2件)
- 書類間違い…(1件)

苦情解決事業

①包括的支援事業

- 相談者数3,834人
- 介護予防ケアマネジメント業務1,775人
- 権利擁護業務108人
- 包括的・継続的ケアマネジメント業務205人
- 出張講座(19回)448人
- 認知症サポーター養成講座(9回)180人

②弁護士による無料法律相談(61人)

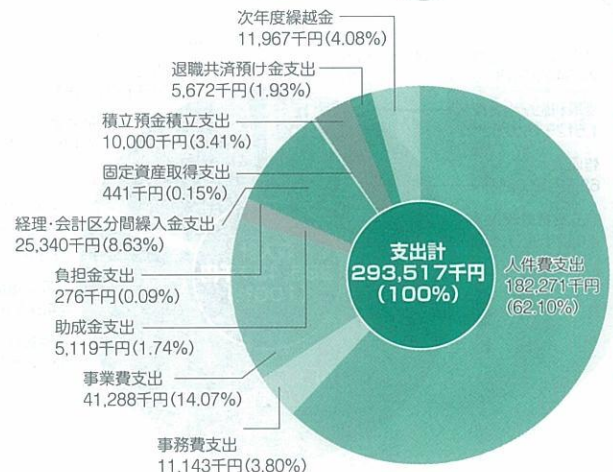
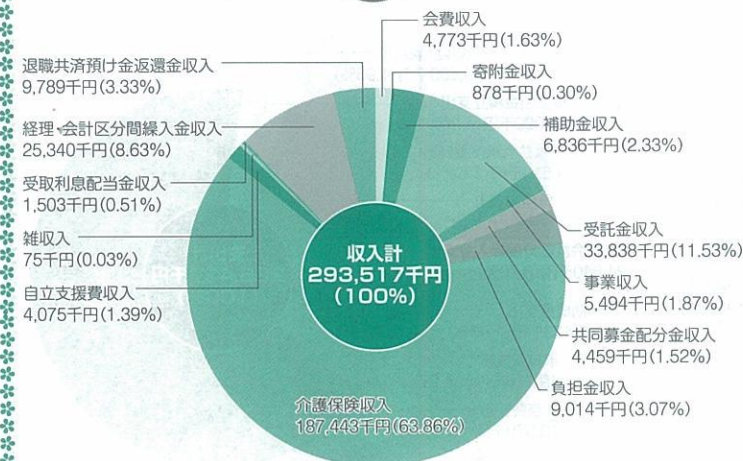
③司法書士による法律相談(3人)

相談事業

収入

平成22年度決算総額

支出



平成23年度 事業計画

平成23年度においては、次の基本方針を掲げて活動を推進します。

◆基本方針

1. 住民が主役の地域福祉活動を支えていきます。
2. 社協の特性を活かして、利用者の立場に立った在宅生活を支えていきます。
3. 時代の変化に対応して社協の体制づくりをめざします。

◆重点目標

1. 職員の資質向上と専門職の確保

職員一人ひとりの育成を旨すとともに、介護職等の専門職の確保に努めます。

2. 経営の安定化に向けた円滑で効率的な法人体制の整備

柔軟に事業を展開するとともに、本会ホームページを活用して積極的な情報提供・情報公開に努めます。

3. 小地域福祉活動の発展・強化

小地域福祉活動モデル地区に対して、地域間の交流の機会づくりや情報発信を行うことにより活動の活性化を図ります。また、活動実践者や地区福祉推進委員の知識向上を目的に研修会を開催します。

4. ボランティアセンター機能の充実

地域住民に対して、支援の必要な人の理解を深めるための取組みを進めるとともに、個別支援に対応できるようボランティアセンターの機能強化をめざします。

5. 社協会員の増強

昨年度に引続き、法人会員の更なる獲得に向けて会員増強計画を作成し、役職員一丸となって本会の活動を周知するため地域に出向きます。また、「せいか社協フェスタ」を開催することにより、本会の取組みを地域住民に周知し、社協会員の増強をめざします。

6. 地域包括支援センターの充実・強化

地域包括ケアの中核機関として、地域に対して介護や認知症の予防、権利擁護に関する普及啓発を継続実施して行います。また、ワンストップサービスとしての総合相談機能を充実します。

7. 期待されるケアプラン事業所をめざして

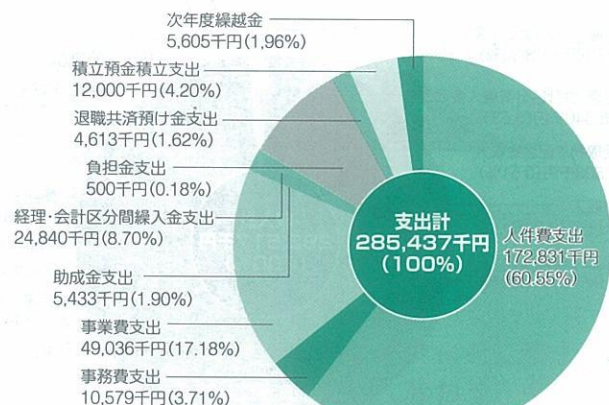
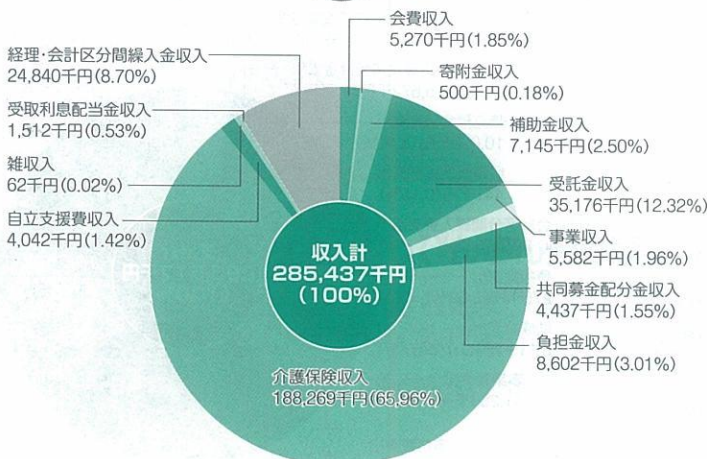
8. 訪問介護事業の充実・強化

9. 通所介護事業の充実・強化

収入

平成23年度 予算総額

支出



ボランティアセンターコーナー

ボランティアセンターとは？

ボランティアセンターは、「ボランティア活動をしたい人」「ボランティアを必要としている人」の総合相談窓口です。

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めるため、住民のボランティア活動の推進をしています。ボランティアセンターでは、ボランティア活動に関する次の事業を行っています。

- 相談受付
- 啓発及び開発
- ボランティア同士の交流
- 登録及び需給調整
- 養成及び研修
- 調査・研究及び情報提供
- ボランティア保険・行事保険の受付



ボランティア活動を始めてみませんか？

特別な資格はいりません。「時間ができたので何かの活動がしたい」「誰かの為に役に立ちたい」と考えている方は、一度ボランティア活動に参加してみませんか？

ボランティアセンターでは、現在500名に近い方々が登録し様々なボランティア活動を行っています。ボランティア活動に興味のある方は、気軽にボランティアセンターへご相談ください。

デイサービス「かしのき」ボランティア募集

デイサービス「かしのき」では、デイサービスにこられる高齢者の方々の話し相手や簡単なお手伝いを通じて交流・親睦を図っています。一緒に楽しみながらボランティア活動をしていただける方を募集しています。



社協デイサービスセンターと一緒にボランティアをしてみませんか？

【活動日】

月～金曜日の午前10時～午後3時
週1～2回程度

【活動内容】

- 話し相手、入浴後の整髪
- お茶の用意
- 昼食やおやつ配膳
- 湯のみ洗浄
- レクリエーションへの参加

など

ボランティアグループ紹介 古布裁断「1つと2」

寝たきりの高齢者向けのおむつのあて布を作っています。根気のある作業ですが、和気あいあいと活動しています。

【活動日】

第3木曜日の午後1時～午後3時
月1回

【活動場所】

かしのき苑



ご自宅で眠っている服やタオル、不要になった綿製のシャツやシャツや古布（洗濯済みもの）がありましたら、社協ボランティアセンターまでお寄せいただきますようお願いいたします。

問合せ先

精華町社協
ボランティアセンター
電話 94-4573



注目

自分らしく！介護予防シリーズ

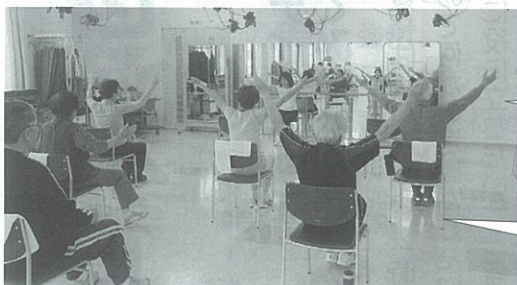
介護予防とは
介護が必要な状態になることを
予防すること、または状態の悪化
を予防することを意味します。

ん～わかるけど
・・・もっと
わかりやすい表現
はないのかな？



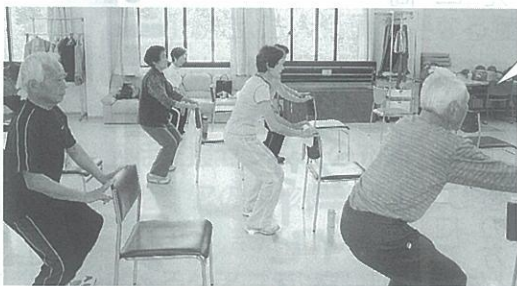
つまり、普段の生活を維持する
ために、カラダもココロも、元気
でいることです。
病気や障害があっても、いきい
きと自分らしく生活するという
ことですね。

運動教室紹介の巻



リズムに合
わせて～
1・2・3♪

楽しんで、カラダを
動かしているよ♪



うっ(。。。；
ちょっと頑張ってスク
ワット！
息を吐きながら～



カラダを動かした
後は、しっかりスト
レッチ☆ほぐして、
いただきます

運動機能を高めめます。

今回は社協デイサービスセンターの2
階で行われている通所型介護予防事業「ア
クティブ・プラス(+)」をご紹介しますよ
う。



病気や年齢などで体力や
気力が低くなった方には、生
活に関係したカラダの部位
を強めるためにトレーニング
をするという方法があり
ます。

週2回(火曜日・金曜日)の3ヶ月間で



参加者のオトコマエさん・べっぴんさん達の声

- まず、自分のカラダを知ることから始まりました。
- ここに来てから、腰痛がずいぶん楽になりました。
- 週2回参加するように予定し準備をするので生活にメリハリができたわ。
- 教室の帰りにお茶に行くなどお友達が増えました。

スタッフの声

カラダを動かすことの楽しさ、そして、自分らしさを再発見していただきたいです。
教室を卒業後も、仲間と運動サークルを立ち上げようとする活動もありましたが、叶わず…今度こそ、どなたか！



注目

認知症サポーター 増えています！

4月9日(土)北稲八間にある生協配送センターにおいて、**認知症サポーター養成講座**を行いました。みなさん熱心に受講していただき、以下のような感想をいただきました。

精華町でも、ますます認知症に対する理解を深め、誰もが住みやすいまちを目指したいですね♪



なるほど…

認知症とは…

平成23年5月末現在で407名のサポーター仲間がいますよ♡

講座を受けた感想

貴重なご意見ありがとうございました。
今回の感想を参考に今後も、地域に認知症サポーターを増やしていきます。(^ 0 ^) /

- まだ身近に認知症の方はいませんが、だんだん何もわからなくなるのだと思っていました。「感情やその人らしさは、最後まで残る」というのは、今回1番肝に銘じた点です。
- 認知症の方は記憶がなくても、気持ちはあって、自尊心を傷つけないことが大切だと学ぶことができました。
- 認知症の人も尊厳を持って生きているので、一人の人間として接していくことが大切であると思いました。
- 「子ども110番」のステッカーはよく普及していますが、これの認知症版を作って地域や企業等のネットワークを作ってみてはどうでしょうか。

ドキドキ胸を震わ
せての初出勤。「一緒
にがんばりましょう
ね」の職員の一言で
気持ちが楽になりま
した。

のか、どういつこ要
望がおりなのかな
どをお伺いすること
は、ケアマネジャー
として大切なこと
です。

介護システムなど
勉強することも多い
ですが、利用者の方
から学ばせていただ
く事も多く、この仕
事を長く続けたいと
思っています。

新米ケアマネジャー奮闘記

注目

地域包括支援センターってどんなところ!?



主任ケアマネジャー



保健師等

「名前を聞いたことはあるけれど…いったい何をす
るところ?」と思われる方々が、まだまだ多いと思
います。

地域包括支援センターは、
「高齢者の総合相談窓口」です。
保健師等・社会福祉士・主任ケアマネジャーが資
格を活かし高齢者の方々の介護の悩み、心身の健康
面、保健福祉サービスについてなどの相談に対応し
ています。

皆様が相談しやすいような窓口を目指しています
ので、お気軽にご連絡くださいね!
(相談時間は平日の8:30~17:15です)



ケアマネジャー
(介護予防プラン作成担当)



社会福祉士

総合相談の窓口です。お気軽に一度ご連絡ください。訪問もいたします。
[申込み・問合せ先] 精華町社協 地域包括支援センター 電話：94-4573
ホームページ：http://www.kyoshakyo.or.jp/seika/cat261/

奮闘記は
次号に続く…

Y.K

デイサービスセンター 掲示板

ボランティア募集!

デイサービスでは、利用者の入浴の整髪や、日々の関わりをお手伝いして下さる「ボランティアかしのき」の皆さんがいます。その他に、

★民謡・フラダンスなど演芸を披露して下さる方

★夏休みを利用して、夏祭りのお手伝いをして下さる学生さん

★囲碁や将棋の相手をして下さる方

★利用者の話し相手など、たくさんボランティアに関わっていただいています。

短時間でも構いませんので、デイサービスのボランティアとして活動に興味のある方は、ぜひ一度ご連絡ください。お待ちしております。

生きがいデイサービスの愛称が、**おたっしや倶楽部**に新たに変わりました。精華町在住で60歳以上・昼間1人で過ごすことの多い方、マシン・スリングを使って体操したり、小物作りなどで、介護予防をしませんか？

■問合せ先

精華町社協 在宅福祉課 通所介護事業係
電話 98-3924

家族交流会を終えて

平成23年3月、家族交流会を行いました。お忙しい中、10名の方が参加してくださいました。日頃、デイサービスでどのように過ごされているかビデオを上映し、見ていただきました。

次に、〈介護講座口腔ケアの必要性について〉は、歯科衛生士に、自宅でできる口腔ケアと題して、口の体操・歯磨き・義歯の手入れの大切さを教えていただきました。介護者にとっては、必ず義歯のお手入れは経験されていて、気になる所が質問できて良かったと言われていました。

最後に、家族との意見交換・質疑応答で、日々の介護に対する悩みや不安疑問などを質問されました。日頃、一人で抱えている悩みをうちあける事で気持ちも晴れ、共有することができました。また、長期間にわたり介護をされている方の意見を聞き、良いアドバイスになったと、帰られる方もおられました。

今後も、皆様のご意見やご要望を取り入れ、家族交流会を開催していきたいと思えます。多数のご参加ありがとうございました。



口腔ケアに対して
良く理解できた。

いろんな人と交流
ができ良かった。

介護者それぞれの
苦勞が理解できる。

アンケート集計

- 参加して
- ①良かった 9名
- ②まあよかった 0名
- ③よくなかった 0名

～その他の意見～

- いろいろな方の介護の体験が参考になる。
- 介護用（大人向け）のゲームを教えて欲しい。
- 介護を行っている人同士の話し合いをもっとしたい。

平成 22 年度の家族交流会の様子



初めての自費サービス(#^.^#)

訪問介護事業

訪問介護事業では、平成23年1月から利用者の自立と社会参加を支援することを目的として、介護保険給付外（全額自己負担）の訪問サービスを提供しています。

その第1回目は、『入院している母を孫の結婚式に出席させたいので、介助の為の同行をお願いできないだろうか。』という依頼でした。入院先から介護タクシーと一緒に式場まで行き、式場ではトイレ介助、移乗介助、見守りを行い、介護タクシーで病院まで送り届けるまでの約7時間のサービスを提供しました。

チャペル前で家族写真に参加され、披露宴ではご主人と並んでお孫さんの晴れ姿を楽しまれていました。最後にお孫さんのあいさつで、『おばあちゃん、ありがとう。』という言葉に涙ぐまれていました。病院では痛みのせいか、虚ろな表情をされていましたが、結婚式場では終始笑顔で過ごしておられました。

介護保険では出来ないサービスを自費サービスによって行うことができ、豊かな気持ちになって頂ける、そのお手伝いが出来た事を

結婚式の様子



嬉しく思います。

他にも、入院中の方の一時帰宅中でのお手伝いをして欲しいという自費サービスを検討中です。

今回のサービスで、『生きる楽しみ』『家族の絆』を強く感じる事が出来ました。

こんな事はどうだろうと思われる時、ケアマネジャーやサービス提供責任者に相談して下さい。良い方法を一緒に探していきたいと思います。

問合せ先

精華町社協 在宅福祉課
訪問介護事業係
電話 98-33526

平成23年度 ケアマネジャー家族交流会のお知らせ

平成22年度に引き続き、今年度も家族とケアマネジャーの交流の機会を持たせていただくこととなりました。毎日お忙しい中で頑張っておられる家族同士、ゆっくりみんなで日頃の介護について話してみませんか。

- 【日時】** 平成23年 7月15日(金) 午前10時～正午
- 【場所】** (福)精華町社会福祉協議会 デイサービスセンター
- 【対象者】** 本会がケアプランを作成している利用者を介護されている方
- 【お申込方法】** 申込書をケアマネジャーに渡していただくか、電話やFAXにて受け付けます。
- 【参加費】** 無料



【内容】

- *ケアマネジャー自己紹介
- *講演「私の介護体験談」
- *おしゃべりタイム
～皆さんでざっくばらんにおしゃべりしましょう～

問合せ先

精華町社協 在宅福祉課
居宅介護支援事業係
電話 98-3398



ぜひふるってご参加ください!

相談情報コーナー

●●● 内容に応じて次の相談業務を行っています。相談はすべて無料で秘密厳守します。●●●

相談の種類	相談員	相談日時	相談対象者	相談受付開始日
法律相談	弁護士	第2水曜日 午後1時30分 から午後4時	精華町内に在住・ 在勤している方 ※過去3ヶ月相談を 受けてない方優先	相談日の1週間前 午前8時30分から 受付
介護相談	地域包括支援 センター職員	第3木曜日 午前10時から正午 午後1時から午後4時	精華町内に在住・ 在勤している方	相談日の1週間前 から
ボランティア相談	社協ボランティア コーディネーター	月曜日～金曜日 午前9時から正午 午後1時から午後5時		



相談日が祝日と重なる場合はお休みです。

※相談場所は「かしのき苑」です。

※介護に関する相談は「介護相談」の日以外でも地域包括支援センターで随時お受けしています。

平成23年度精華町寝具洗濯乾燥消毒サービスのお知らせ

【対象者】

町内にお住まいの在宅寝たきり高齢者など（要介護3以上の方）

【寝具の種類・枚数】

対象者1人に対して1回につき、敷布団・掛布団・毛布の各1枚（シングルサイズ）を基本とし、年6枚以内。

※代替寝具の無料貸し出しあり。



【費用】（実費の1割相当負担）

敷布団	綿・羊毛・羽毛	200円
掛布団	綿・羊毛・羽毛	200円
毛布		60円

【申込み方法】

精華町社協地域福祉課まで「寝具洗濯乾燥消毒サービス事業申請書」を提出して下さい。

※ 利用ごとに申請書の提出が必要です。

※ 申請書は地域福祉課窓口にあります。

（本会ホームページからもダウンロードできます。）

	申込み締切日	布団回収日	布団配達日
第1回	平成23年6月10日	平成23年6月22日	平成23年6月29日 終了
第2回	平成23年9月30日	平成23年10月12日	平成23年10月19日
第3回	平成23年12月2日	平成23年12月14日	平成23年12月21日
第4回	平成24年2月17日	平成24年2月29日	平成24年3月7日

☆発行日 平成23年6月17日

☆発行 (福)精華町社会福祉協議会
京都府相楽郡精華町南稲八妻砂留22番地1
精華町地域福祉センター「かしのき苑」内

TEL 0774-94-4573

FAX 0774-93-2278

E-mail shakyou-npo@town.seika.kyoto.jp

URL <http://www.kyoshakyo.or.jp/seika/>

ご寄付ありがとうございました

(個人) 大西 サカエ (故人)

匿名 4名

(団体) 祝園チャペル

ユニー(株)アピタ精華台店

(順不同・敬称略)

